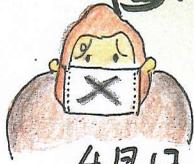


平成29年も向もなく終ろうとしています。
幼稚園の生活は平成30年3月までが平成29年度と
なります。この年度 私が学んだ事

①に健康 ②に健康 ③④がなくて

⑤に健康の言葉につきます。



4月は かぜひきからのスタートでした。
その後 声の調子がいい。「そのうち どうにか
なるだろう」と 思っていたのがだんだん々々
声が出なくなり 12月には、声帯の手術
今、しゃべらないつらさを味わっています。

久しぶりに登園した私を迎えてくれた子どもたち。
お休みに心を配る表情に 教師たる者の基本。
自己管理(心身の存在する事)の大切さを
改めて教えることができました。

職員室のまどから外を見ると 窓をものもせず
元気に走りまわっている子どもたち。この子どもたちの中に
どんな記憶が残り、いくのだろうかとー

「子ども(幼児期)の頃に 出会い 言葉は
火種となり 心にとどる

長い年月を経て 燃え続ける

そして 人を勇気づけたり 助けたり

時には 道迷いを照らす 明かりにもなる



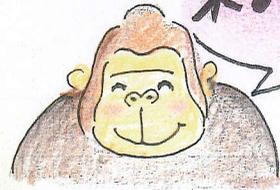
NO.1 旧友通信
しんとこころ子
あまのこ

カチンとして大分年月がたつて
いるのに「ありがとう」の気持ちで
いっぱいです。

来る年 平成30年も

皆さまで

よりよい年になりますように



今、母の住んでいた家を片付けながら
自宅の断捨離もしています。ズーッと
とっておいた園便りも、ここで処分しよう
と、ダンスから出してきました。とても
懐かしい園便り三年分、あよと読み返して
から処分しようと思いつき読み返したら
止まらなくなりました。
子どもたち親たちに向けた素敵な
メッセージの数々：やっぱり捨てられ
ません。また、みどりのお道具箱に
しまいます。そして、少しずつ読み
返します。十二月二十四日に息子は
二十歳になります。感無量です。
先生方に 感謝です。

卒業生のお母さんたちの お便りも
四月から上のものも子ども(孫)が
年少入園です

私のノートに書きつづっていた文章の一部です

記憶には、
・教えられる記憶(勉強、けいご etc)
・心に残る記憶(厳しさ、あたたかさ
いじらしさ etc)

...が あとは、

3期は心に残る記憶を子どもたちの心に残しに
つめこんであげたい。

反省から3期の目標にまで広がった

Perkovic